

## 新しい学習指導要領がめざす姿

校長 林 久徳

平成27年度の取組が終わりを告げようとしています。今年度本校では子どもたちにとって必要な様々な教育に取り組んできましたが、大きな成果をあげられたと思うことがあります。それは子どもたちが集まって何かをしたり、ゲストティーチャーにお越しいただき様々な体験をさせていただいたりした時に必ず自分なりの思いや考えを述べるということです。昨年度の子どもたちの様子を見てみると、お世話になったときや、何かを経験した時、大きな声で一斉にお礼を言うことはできていました。でも、いざ一人一人がそこでどんな思いを持ったかを尋ねてみると思いが言葉になって出てこないことがたびたびあったのです。少ない人数の学級、気心の知れた家族や仲間内なら別段言葉にしなくても気持ちの通じることが多々あります。その温かさは素晴らしいのですが、それでは社会に出た時、自分の居場所を持ち、しっかりと自分の力を発揮することができないのではないかと。そんな思いから今年度の初めに、今年度は様々な取組の中で必ずしっかりと自分の思いや意見を言う場面を作ろうと提案し、各学級の担任が徹底して取り組みました。静原タイムや田畑の仕事、間伐体験、読み聞かせの時間などでもしっかりと感想を話しました。また避難訓練や交通教室のときには、消防署や警察署の方に感想を聞いていただきました。子どもたちも何か体験した後は必ず自分の意見を言うんだということ意識すると、体験する時も身を乗り出して話を聞いたり、自分から進んで活動したりするようになったのです。このように本校の教育は、教科の枠にとらわれず、様々な体験から学びを生み出していくことに取り組んできました。



平成32年度より完全実施される次期学習指導要領の基本方針が平成27年8月末にまとめられました。最も大きなポイントは、教科の枠を超えた「資質・能力」(コンピテンシー)の育成です。新しい学習指導要領がめざす姿の中に、「人生を主体的に切り拓くための学び」が問われ「社会に開かれた教育課程」がキーワードとして挙げられています。また、『～子どもたちに社会や職業で必要となる資質・能力を育むためには、学校と社会の接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」の視点も重要である。学校教育に「外の風」すなわち、変化する社会の動きを取り込み、世の中と結び付いた授業等を通じて子どもたちにこれからの人生を前向きに考えさせることが、主体的な学びの鍵となる～』とも述べられています。これは、まさしく静原小学校が取り組み、目指している姿です。本校のキャリア教育を学校教育の柱として取り組んできた方針やその目指す姿は次期指導要領と比べても決して劣ることはなく、リードしているものと言えます。平成28年度も様々な学習を点ではなく、そのつながりを考えて線にしたり、面にしたりして社会で自分の力を発揮し、自分を生かせる子どもを育むために励んでいきたいと思ひます。

## 京産大神山交響楽団鑑賞会

静原小学校の校歌演奏と共にみんなで斉唱するところから鑑賞会がスタートしました。指揮者体験・打楽器体験や楽器についてのクイズをしながら楽器に親しみました。アンサンブル演奏は弦楽器、金管楽器、



木管楽器、打楽器に分かれて、それぞれの音色を確かめることができました。京都産業大学オーケストラの音楽鑑賞会は、毎年恒例となり、地域や保護者の方々も参加されて音楽を楽しむことができます。素敵な演奏を聞かせていただいた後は、昼食交流もしていただきました。児童は、楽しく音楽のことや学校生活のことなど話をすることができました。



## 6年生を送る会

6年生を送る会は、6年生への卒業を祝うこと、リーダーとして学校を引っばってくれたことに対する感謝の気持ちを伝え、中学校生活への希望を膨らませていただく事がねらいとして在校生が、計画して進めます。各学年からは、工夫した出し物があり、学年それぞれが心温まる出し物で



6年生の卒業をお祝いする会となりました。6年生からのメッセージを受けて在校生が新たなスタートにもつなげることができました。

## シェイクアウト訓練

防災について日頃からどう備えるか考えておくことは大事なことです。東北の大地震に合わせて、3月11日に訓練を実施しました。9時30分に防災のメール配信がされていたことと思います。9時30分に、1分ほど、机の下に入ったり倒れてきそうなものから離れたりを自分で行動がとれるようにする訓練をしました。



## いただきましたお祝い等で図書購入しました。

今年度、いろいろな行事でいただきましたお祝いで、図書やCD教材を購入いたしました。ありがとうございました。

